



障がい者アート作品のバーチャル展示について

令和3年11月25日
保健福祉部 障がい福祉課

『わく・わくバーチャル美術館U』で障がい者アート作品を展示します。

～ ウェブ上での作品展示会 ～

障がい者週間（12/3～9）の取組の一環として、一人でも多くの市民に、障がい者のアート作品に触れてもらうため、障がい者の活動発表の場である「うつのみやふれあい文化祭」の作品展を、まるごとウェブ上に再現した、非接触型の展示会『わく・わくバーチャル美術館U』の公開をスタートします。

○ バーチャル美術館の構成

展示会場のバーチャル画面や作品の詳細を記載したギャラリー画面等で構成



【トップページ画面】



【VRミュージアム画面】



【ギャラリー画面】

○ バーチャル美術館の特徴

- ・ 360度カメラを利用し、10月2日に開催した、宇都宮市文化会館での作品展示会を再現
- ・ バーチャル画面については、自分の見たいものを見たい角度や大きさを変えて見る事が出来るほか、現地で作品を見ているかのようなウォークスルー等が可能
- ・ 作品展示数は、「わく・わくアートコンクール in うつのみや2021」の応募作品158点、うつのみやふれあい文化祭展示希望作品59点の合計217点を展示
- ・ 意見や感想はアンケートフォームに寄せてもらうことが可能
- ・ バーチャル美術館の制作は、市内の障がい者施設へ優先調達により業務委託（施設利用者がデザインや入力・動作確認作業に従事）
- ・ 障がい者のアート作品を広くPRしながら、今後は、作品のデザインを活用した商品化への展開を検討していく。

○ 公開日

令和3年12月3日（障がい者週間の初日）～

○ ウェブURL

<https://st.ufcf2021.org/>

○ 主催

宇都宮市

○ その他

障がい者週間の取組としては、「わく・わくアートコンクール」巡回展等を11～12月にかけて開催するほか、11月27日（土）に、障がい者週間記念販売会「マルシェ in オリオン」を開催するなど、各種活動を実施します。（詳細は裏面のとおり）

うつのみやふれあい文化祭

…障がい者の社会参加や交流を促進するため、ステージ発表や施設製品の販売、体験コーナー等を行っているイベント（今年度は作品展示のみ実施）

わく・わくアートコンクール in うつのみや

…障がい者の絵画等を公募し、市長賞、審査委員長賞など30点の入賞作品を決め、ふれあい文化祭で応募作品を展示するほか、入賞作品は、市内で巡回展を実施



QRコード



○ 障がい者週間の取組について

1 「障がい者週間」(12月3日～9日)とは

障がいや障がい者への関心と理解を深め、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者基本法に定められているものです。

2 本市における「障がい者週間」啓発活動について

市民一人ひとりが障がいを身近なものとして考え、障がい者との交流等を通じて障がいへの理解を深められるよう、「障がい者週間」の時機を捉え、以下の各種事業を行っています。

	日時	活動内容
①	11月12日 (金)～ 12月19日 (日)	◎わく・わくアートコンクール in うつのみや2021入賞作品巡回展 (内容) アートコンクール入賞作品の展示を7か所で開催 (会場) ①JR宇都宮駅(11月12日) ②駅ビルパセオ(11月13日, 14日) ③福田屋百貨店インターパーク店(11月19日～21日) ④東武宇都宮百貨店(11月26日～28日) ⑤ベルモール(12月3日～5日) ⑥栃木県子ども総合科学館(12月10日～12日) ⑦宇都宮市立南図書館(12月17日～19日)
②	11月27日 (土)	◎障がい者週間記念「マルシェ in オリオン」開催 <u>別紙</u> (内容) 市内の障がい者支援施設で作られた製品の販売 (会場) オリオン通り商店街(シンボルロード～東武百貨店前)
③	11月下旬～ 12月上旬	◎各種啓発活動 ・ 市役所市民ホールでの啓発展示(12月3日) ・ ミヤラジ・バンパビジョンでの周知啓発動画放映(11月下旬～12月上旬)など